

はつらつ体験塾 通信



令和6年度 第3回チャレンジキャンプ号 令和7年2月4日
新潟県少年自然の家

たくさんのチャレンジに大成功！

1月18日(土)・19日(日)に、「第3回はつらつ体験塾 チャレンジキャンプ」を実施しました。初めての参加、初めて家族と離れての宿泊、自分の意見や班のメンバーの良いところを見つけ、伝え合うなど子どもたち一人一人が様々なことにチャレンジする姿がたくさん見られました。今年度最後のはつらつ体験塾の様子をお伝えします。

<1日目>

13:00	13:30	13:40	15:00	17:30	18:30	19:30	21:30
受付	出会いの つどい	レクリエー ション	フォトフレ ームづくり	夕食 休憩	お楽しみ チャレンジの準備	お風呂 自由時間	就寝

出会いのレクリエーションでは、体全体を使ってのじゃんけん、班全員で手をつないで風船を落とさないようにコーンを回るリレーなどをしました。少し緊張していた子どもたちも笑顔いっぱいになりました。



宿泊の準備を済ませて一息ついた後は、フォトフレームづくりです。フレームにどんぐりや松ぼっくり、木の枝などを安全に気を付けながらグルーガンで取り付けました。最後まで集中して粘り強く取り組む姿が素晴らしかったです！



夕食後は、翌日の「お楽しみチャレンジ」（班ごとにみんなが楽しめる遊びを考え、子どもたちで計画から進行まで行う活動）の話し合いと準備をしました。どんな遊びならみんなに楽しんでもらえるか、役割分担はどうするかなど、一生懸命考えながら、実際に動きながら進めることができました。



夕食後に自分からテーブル拭きをしてくれました。素晴らしい！



<2日目>

6:30	7:30	8:30	10:00	13:30	13:45
起床	朝食	お楽しみチャレンジ	カレーうどんづくり	別れのつどい	解散

朝食後は、いよいよ「お楽しみチャレンジ」本番です。子どもたちが考えたアクティビティは「クイズバスケ」「ドッチボールトーナメント」「とうてきおに」「モルックボウリング」「フルーツバスケット」です。参加者は小2～中3までと幅広かったのですが、みんなが笑顔になる、とても楽しい時間になりました。「1人1役」というチャレンジも見事達成です。そして、全てのグループが決められた時間内に終わることができていました。子どもたちの「チャレンジ」と「素晴らしさ」を感じる、充実した時間でした！



最後は、「カレーうどんづくり」です。「カレーができれば豚汁もシチューも作れる」「学んだことを家庭で生かす」ことをねらいに取り組みました。役割分担をして進めるのではなく、「必ず一人ずつ工程に取り組む」ことを大切にしながら進めました。包丁や皮むき器の扱いなど慣れない作業もありましたが、みんなでわいわいと、楽しく活動できました。そして、できあがったカレーうどんのおいしさにびっくり！！量が足りない人はレンジで作るご飯も自分で作って食べました。ぜひまたチャレンジしてほしいと思います。



今年度最後のはつらつ体験塾は、たくさんのチャレンジと子どもたちや学生ボランティアの笑顔あふれる、とても素敵な2日間になりました。ここでの学びを生かして、様々な場面で力を発揮して欲しいと願っています。本事業を応援してくださった皆様に、心から感謝申し上げます。



はつらつ体験塾担当：保坂 吉彦・須田 洋介・星野 貴之